

令和6年度 二本松商工会議所 経営発達支援事業報告書

I. 経営発達支援事業の内容

II. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み

上記2項目について、令和6年4月から令和7年2月までの期間における実施内容をご報告いたします（事業年度は3月までのため、最終的な数字は変動する可能性があります）。



二本松商工会議所

Nihonmatsu Chamber of Commerce and Industry

I. 経営発達支援事業の内容

【地域の経済動向調査に関すること】

①地域の経済動向分析

小規模事業者がターゲット顧客の見直しを行うためには、まずは外部環境の変化を正確に捉える必要がある。

本項目では日本商工会議所で実施している地域診断サービスを活用。具体的には地域経済分析システム「RESAS」によって示された二本松市の現状（地域経済循環図、人口・従業員数・生産額・付加価値額の推移、産業の構造、観光客の消費動向など）を可視化させた状態で当所ホームページ上に公開した。

《資料1》

項 目	R 4 年度 (申請時実績)	R 6 年度	
		目 標	実 績
①地域の経済動向分析 ・「RESAS」による「二本松市の地域経済分析について」の公表	1	1	1

②管内経済情勢の把握

本項目は昨年度に引き続き、日々の経営支援をととして「BIZミル」による経営状況調査を実施（調査期間：令和6年4月～令和7年2月）。

調査結果は別紙のとおりであるが、経営の根幹を成す売上高については約44%の事業所が【増加】と回答。環境変化（エネルギー価格や原材料の高騰）を背景とした価格転嫁の交渉等が一部で進んでいるものと思われる。当然ながら価格転嫁が進んでいることは歓迎すべきことだが、景況感はほぼ全ての業種において停滞傾向にあるのが現状。

その他の項目としては、販売促進方法においてホームページやSNS・ブログを挙げる事業者が徐々に増加しており、当所のDX支援が実を結びつつある。

また、事業承継については後継者の確保に一定の目途が立っている事業者は依然として低い割合で推移している。潜在的課題を有する事業者の掘り起こしを継続していく必要がある。支援にあたっては福島県・事業承継引継ぎ支援センターや福島県よろず支援拠点、独立行政法人中小企業基盤整備機構などの専門家を有効に利用していきたい。

《資料2》

項 目	R 4 年度 (申請時実績)	R 6 年度	
		目 標	実 績
②管内経済情勢の把握 ・「BIZミル」による「経営状況調査」結果の公表	1	1	1

【需要動向調査に関すること】

管内には菓子や家具といった特産品があり、小規模事業者が製造・販売をしている商品や製品が多くを占めている。今後、当該小規模事業者が新たな需要を獲得していくには、顧客ニーズや新たなターゲットの発掘、商品のブラッシュアップ等が必要である。

このような背景から、本項目においては「にほんまつ菓子博」、「二本松家具まつり」という2つのイベントにおいて来場者に対するアンケート調査を実施。集計結果についてはそれぞれ事業者にフィードバックし、福島県よろず支援拠点などの専門家を介しながら、今後に向けた商品（製品）のブラッシュアップへとつなげてもらう予定である。

①「にほんまつ菓子博」での商品調査

事業名：にほんまつ菓子博

実施日：令和7年1月26日（日）

会場：二本松市市民交流センター

回答者数：60人（60食分）

集計結果：別紙のとおり《資料3》



項目	R4年度 (申請時実績)	R6年度	
		目標	実績
①「にほんまつ菓子博」での商品調査 ・調査対象事業者数	—	2	2

②「二本松家具まつり」での商品調査

事業名：二本松家具まつり

実施日：令和6年9月28日（土）～29日（日）

会場：二本松市市民交流センター

回答者数：90人

集計結果：別紙のとおり《資料4》



項目	R4年度 (申請時実績)	R6年度	
		目標	実績
②「二本松家具まつり」での商品調査 ・調査対象事業者数	—	2	10

【経営状況の分析に関すること】

○経営分析

事業計画の策定にあたっては、財務諸表の分析だけでは不十分である。

非財務分析といわれる経営者情報（方針、意欲、後継者の有無）や、事業所の強みや弱み、外部環境（市場動向、競合他社）の把握にあたっては、「伴走型小規模事業者支援推進事業」によって導入した「BIZミル」を活用し、次項・事業計画策定に伴う基礎データとした。

また、この経営分析によって専門的な課題が出た案件については、福島県よろず支援拠点の専門家に相談を依頼。当所職員もその場に同席してノウハウを吸収することで、資質向上の機会とした。

項 目	R 4 年度 (申請時実績)	R 6 年度	
		目 標	実 績
○経営分析事業者数	3 5 (198)	3 6	4 6 (175)

【事業計画策定支援に関すること】

○事業計画策定

事業計画の策定は、個社の持続的発展を目指すために有効であることを毎月10日に発行している会報紙「にほんまつ会議所ニュース」により周知と啓蒙を図りつつ、下記のとおり23事業者の計画策定を支援した。

また、本項目では事業計画策定の一環で、セミナーを主としたDX支援を掲げている。具体的には、事業計画の策定に意欲的な事業者を対象にDX支援を実施することで、小規模事業者の競争力の維持・強化と経営の合理化を促した。なお、セミナーについてはSNS活用をテーマに掲げ、令和6年11月19日（火）に実施した（参加者：11名）。

項 目	R 4 年度 (申請時実績)	R 6 年度	
		目 標	実 績
○事業計画策定			
・ 事業計画策定事業者数	2 2	1 8	2 3
・ DXセミナーの開催回数	—	1	1



【事業計画策定後の実施支援に関すること】

○事業計画策定事業所のフォローアップ

事業計画は策定することが目的ではなく、その後の継続支援が肝要である。本計画では、計画策定後の事業所に対して四半期毎を目安としたフォローアップを行い、その後の進捗状況確認や指導を実施した。フォローアップの状況は「BIZミル」で情報を共有し、職員相互の支援状況の可視化（見える化）を図っている。 《資料5》

項 目	R 4 年度 (申請時実績)	R 6 年度	
		目 標	実 績
○事業計画策定事業所のフォローアップ	22者	18	23
・頻度	四半期毎(128回)	72	77
・売上増加事業者数	—	6	8
・経常利益増加事業者数	—	4	3

【新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること】

①伊達な商談会への出展支援

小規模事業者が持続的経営を続けていくためには、新たな需要の開拓が必要である。その一方で、小規模事業者の多くは経営資源に乏しく、独自での取り組みには限界があるのもまた事実である。

そこで本項目では新たな需要の開拓に寄与する事業の一つとして「伊達な商談会」を掲げ、その支援にあたった。結果としては3者に対して「伊達な商談会」を周知し、「FCP展示会・商談シート」の作成について支援を実施。その内1者が仙台国際空港(株)と商談を行い、令和7年度での出店が決定した。

項 目	R 4 年度 (申請時実績)	R 6 年度	
		目 標	実 績
①伊達な商談会への出展支援			
・出展事業者数	—	2	1
・成約件数	—	1	1

②SNS・ECを活用した販売促進

現代においてITを使った販路開拓は有効な手段の一つであるが、小規模事業者の多くは取り組みが遅れている。また、当所管内ではSNSやECを活用した販路開拓に意欲的な事業者が一定数存在するが、思うような成果が上がっていない。このような背景から、本項目では日本商工会議所の「伴走型小規模事業者支援推進事業」を活用し、SNS活用セミナー及び個別相談会を令和6年11月19日（火）から翌20日（水）にかけて実施。前者（セミナー）には11名、後者（個別相談会）には2名がそれぞれ参加し、SNS・ECに対する意識の醸成と、新たな販売チャネルの確立を図った。

項 目	R4年度 (申請時実績)	R6年度	
		目 標	実 績
②SNS・ECを活用した販売促進			
・実行支援事業者数	—	3	2
・売上増加者	—	1	1

※実行支援事業者数は、令和6年11月20日（水）の個別相談会参加者を計上。

II. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み

【事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること】

○事業の評価及び見直し

経営発達支援計画の事業実績やその成果については、本資料を提出する年1回の評価会議によって、評価及び検証を実施する。特に目標未達項目の反省を行い、次年度の事業実施へと繋げる。評価委員については、相馬 由寛氏（中小企業診断士）と二本松市へ依頼した。（令和7年3月21日実施）

【経営指導員の資質向上等に関すること】

①経営指導員のみならず一般職員も含めた支援能力の向上に向けた取組

各種研修会への積極的な職員の派遣により、小規模事業者の売上・利益向上、販路開拓支援、DX支援、経営力再構築伴走支援の習得・向上は勿論、他の商工会議所や支援機関との情報交換をすることができた。

また、昨年度に引き続いて、独立行政法人中小企業基盤整備機構から講師を招き、安達郡内商工会職員との合同研修会も実施した。

小規模事業者経営改善資金貸付推薦団体連絡協議会

日 時	場 所	参加団体	内 容
令和6年 6月 5日 令和6年10月24日	福島市	(株)日本政策金融公庫、県北地区商工会議所・商工会	マル経融資貸付状況や、各管轄地域の資金需要等について情報交換

二本松市創業支援連絡会、中小企業等支援に係る意見交換会

日 時	場 所	参加団体	内 容
令和6年 4月26日 令和6年11月12日	二本松市役所	二本松市、市内各金融機関(株)日本政策金融公庫、あだたら商工会、二本松商工会議所	創業者を対象とする補助制度や融資制度、空き店舗情報の共有と、新たな支援体制の構築について協議

県内商工会議所 経営指導員研修会・補助員研修会

日 時	場 所	参加団体	内 容
【経営指導員研修会】 令和6年 6月20日～21日 令和6年11月21日～22日 【補助員研修会】 令和6年10月17日～18日	福島市 須賀川市 相馬市	県内10商工会議所	県内10商工会議所に在籍する、経営指導員及び補助員を対象に行われる研修会をとおり、小規模事業者支援や事業計画策定、各補助事業の事例等について情報を交換し、その共有を図る。

安達地方商工会及び商工会議所経営指導員等研修会

日 時	場 所	参加団体	内 容
令和6年12月 4日	二本松 商工会議所	二本松商工会議所、あだたら 商工会、本宮市商工会、大玉 村商工会	研修をとおり、安達郡内の経営指導 員、経営支援員、補助員の資質向上 を図る。

中小企業大学校 中小企業支援担当者研修（販売促進のためのIT活用支援）

日 時	場 所	参加者	内 容
令和6年10月22日 ～10月24日	中小企業 大学校 (仙台)	経営指導員1名	Webマーケティングの基本や効果的なITの 活用方法について学び、営業活動との連携によ る、IT、Web、ソーシャルメディア等、身 近なITツールを活用した売れる仕組みづくり の構築方法について学ぶ。

②個人に帰属しがちな支援ノウハウを組織内で共有する仕組み

これまでの当所における小規模事業者の経営支援については、特定の職員の資質や経験に依存する形が続いていた。経営状況内容や支援履歴を共有する仕組みも構築されていなかったことも課題の一つであった。

このことから、専門家による事業者支援への同席や、組織内での情報・ノウハウを「BIZミル」とおして共有することで本項目の実施内容とした。